



知っていましたか?

日本離床学会 シリーズ人工呼吸器 臨床編

やってはいけない! 人工呼吸器ケア



症例を通して学ぶ呼吸ケアと早期離床の実際

日時:2023年
4月2日(日)
10:00~16:10

場所:インターネット生ライブ中継

見逃し受講期間2週間あり

講師: 曷川元先生(日本離床研究会)

対象: 看護師、PT、OT、ST (左記以外でも受講可)

受講料: 会員 9,800 円(税込) 一般 12,800 円(税込)

技術も
しっかり解説!

講座コード J-8

新入会 会費無料

※事前登録制: 定員になり次第締切り

“人工呼吸器装着=なにもできない”は本当ですか?

人工呼吸器管理下であっても呼吸器合併症予防のために様々なアプローチを行う必要があります。しかし、複雑なライン・変化するパラメータを原因としてなかなか介入できないと悩んでないでしょうか? そんな悩みを解決するため、本講座ではICUでも活躍するベテランを講師に招き、「やってはいけない!」という観点から人工呼吸器装着時に必要な介入のポイントを8つにしぼって解説。実際の症例を交えて確実に離床できる専門家を育成します。重症患者さんであっても、何かしてあげたい...そんな前向きな姿勢を応援する集中講座。いよいよ開催です!

1日も早くADLを回復!

そんな決意を応援する

“やってはいけない”



8つのポイント



- Point 1 **人工呼吸器装着患者を寝たきりにしてはいけない!**
レスピレーター装着患者における早期介入の必要性とそのエビデンス
- Point 2 **呼吸・循環を評価しないで重症患者の体位変換を開始してはいけない!**
体位変換開始時期を見極める! 目からウロコのデータ収集ポイント
- Point 3 **合併症予防のポイントを知らずにポジショニングしてはいけない!**
無気肺・肺炎・褥瘡・末梢神経麻痺から患者を守るためのテクニック
- Point 4 **原因がわからないうちにアラームをリセットしてはいけない!**
これならわかる! パターンで学ぶアラームの原因検索法
- Point 5 **前もってシュミレーションしないで急変対応してはいけない!**
血圧低下! 事故抜去! 急変の原因別にみたベッドサイドでの動き方
- Point 6 **ライン類のさばき方を知らないで離床を開始してはいけない!**
模擬人工呼吸器チューブを用いた体位変換と早期離床の実際
- Point 7 **座位にした時、腰の痛みを出してはいけない!**
腰部周囲の触診と疼痛に対する徒手アプローチ
- Point 8 **ICU-AWを放置してはいけない!**
急性期独特の筋力低下を予防! IMSとMRCを用いた評価も習得

*この講座は離床アドバイザー習得コースの実技コース1単位を取得できます。

症例が回復していく姿に沿って、より臨床的に評価とアプローチを学びます。

介入3日目のデータ

意識: JCS II-10 刺激と開眼する
(ディブリバンにて浅めに鎮静)

循環: HR: 76回/分 BP: 120/66mmHg
側臥位にしても血圧安定

呼吸: SIMV 10 PS 7 PEEP 10 FiO₂ 0.55
PaO₂ 108 P/F 196 SpO₂ 99% ラトリング(-)
両背側の肺胞呼吸音聴取できず

疼痛: コントロール良好

パラメータを診て



アセスメントし



テクニック学ぶ!

さらに回復した状態で...

※被写体はモデルです

受講方法

ホームページよりオンライン登録

日本離床学会

検索

お問い合わせ・お申込先

臨床を元気に! 日本離床学会

〒102-0073 東京都千代田区九段北1-2-12 プラールビル2F
ホームページ <https://www.rishou.org/>
TEL 03-3556-5585 FAX 03-6272-9683
Eメール jsea@rishou.org

